

n.

様式（文部科学省ガイドライン準拠版）

自己評価報告書

令和5年5月1日現在

学校法人 高村育英会
国際デュアルビジネス専門学校

令和5年6月1日作成

目 次

本書の使い方	1	基準4 学修成果	25
1 学校の理念、教育目標	2	4-13 就職率	25
2 本年度の重点目標と達成計画	2	4-14 資格・免許の取得率	27
3 評価項目別取組状況	4	4-15 卒業生の社会的評価	28
基準1 教育理念・目的・育成人材像	5	基準5 学生支援	29
1-1 理念・目的・育成人材像	6	5-16 就職等進路	30
基準2 学校運営	8	5-17 中途退学への対応	31
2-2 運営方針	9	5-18 学生相談	32
2-3 事業計画	10	5-19 学生生活	34
2-4 運営組織	11	5-20 保護者との連携	36
2-5 人事・給与制度	13	5-21 卒業生・社会人	37
2-6 意思決定システム	14	基準6 教育環境	39
2-7 情報システム	15	6-22 施設・設備等	40
基準3 教育活動	16	6-23 学外実習、インターンシップ等	42
3-8 目標の設定	17	6-24 防災・安全管理	44
3-9 教育方法・評価等	18	基準7 学生の募集と受入れ	46
3-10 成績評価・単位認定等	21	7-25 学生募集活動	47
3-11 資格・免許取得の指導体制	22	7-26 入学選考	49
3-12 教員・教員組織	23	7-27 学納金	51

基準 8 財 務	5 2
8-28 財務基盤.....	5 3
8-29 予算・収支計画.....	5 5
8-30 監査.....	5 6
8-31 財務情報の公開.....	5 7
基準 9 法令等の遵守	5 8
9-32 関係法令、設置基準等の遵守.....	5 9
9-33 個人情報保護.....	6 0
9-34 学校評価.....	6 1
9-35 教育情報の公開.....	6 3
基準 10 社会貢献・地域貢献	6 4
10-36 社会貢献・地域貢献.....	6 5
10-37 ボランティア活動.....	6 7
4 令和 3 年度重点目標達成についての自己評価	6 8

本書の使い方

- 1 本書は平成 25 年 3 月、文部科学省が策定・公表した「専修学校における学校評価ガイドライン」（以下、「ガイドライン」という。）に示された「項目別の自己評価表(例)イメージ」及び「自己評価における評価指標・観点・参考資料一覧表(イメージ案)」などを参考に全体を構成しました。
また、評価項目は、特定非営利活動法人私立専門学校等評価研究機構(以下「機構」という。)がガイドラインに準拠して制定した「専門学校等評価基準書 Ver4.0」を適用しています。
- 2 従来の「評価項目別取組状況」に「学校の理念・教育目標」、「年度の重点目標と達成計画」、「年度の重点目標達成についての自己評価」を加えることにより、ガイドラインに示されている PDCA を活用した自己評価を進めることができるようになっています。
- 3 ガイドラインでは、「項目別の自己評価表(例)イメージ」において取組状況を 1 から 4 の評語を用いて自己評定する様式を例示しています。このことから、本書でも「評価項目別取組状況」の小項目毎に評定欄を加えました。評語の考え方の例は、以下のとおりです。但し、評定については学校ごとの考え方により実施しない学校においては評定欄を削除してお使いください。

※評語の意味

- 4 適切に対応している。課題の発見に積極的で今後さらに向上させるための意欲がある。
- 3 ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取組みが期待される。
- 2 対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取組む必要がある。
- 1 全く対応をしておらず不適切。学校の方針から見直す必要がある。

- 4 本書は、学校関係者評価を円滑に進めるために、記述のうち「学校の理念・教育目標」、「年度の重点目標と達成計画」、「年度の重点目標達成についての自己評価」など部分的にピックアップして評価を行うことができるように構成していますので、学校関係者評価実施においても活用できます。
- 5 本書はワード形式で作成しています。学校の考え方により適宜変更して使用してください。ご不明な点につきましては、機構事務局までお問い合わせください。

連絡先 03-3373-2914 info@hyouka.or.jp

1 学校の理念、教育目標

教育理念	教育目標
<p>「人間教育」「実践教育」「国際人教育」という 3 つの教育理念とそれにより</p> <p>「学生」「保護者」「社会」の 3 つの信頼の獲得を建学の理念としている。</p> <p>本校では「心からのおもてなし精神」を育み、社会の要請に応えうる人材の育成を目的としている。</p> <p>今後も将来にわたり一貫して、国際化時代に活躍できるスペシャリストの育成を目指している。</p> <p>このような理念・目的・育成人材像等を全職員が理解し、意識させるため、令和 3 年度事業計画の立案に参加させ、会議等で、周知徹底を図ってきている。</p>	<p>以下の三つを基本的な教育目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none">1 人間教育 どの業界、どの企業においても囑望されている人材として必要な、豊かな人間性そして人格の向上に重点を置いた教育システムにより人材育成にあたる。2 実践教育 どの業界、どの企業においても囑望される人材に必要な、知識と行動力を備えた人材育成にあたる。 その実現のため、企業との連携を図り、企業実習をカリキュラムに取り入れている。3 国際人教育 当校の INTERNATIONAL COLLEGE OF の冠名のとおり、日本を知り、世界を知る人々の融合の中で国際的センスを養う。

2 本年度の重点目標と達成計画

令和4年度重点目標	達成計画・取組方法
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの先行きが見えない中で、着実に終息に向かっている。 それに社会変化を掴み、在校生においては就職内定、新入生においては入学者の獲得を復活させる。 ・教務・就職・学生募集の連携を強化し、少数のスタッフながらも学校運営を引き続き安定的に行い、授業運営と就職内定を実現する。 ・「就職に強い学校」というスローガンは継続し、近年の業界の変化や学生からの授業ニーズを的確にとらえ、他の専門学校にはない独自の商品カリキュラム・学生サービスを展開し成果に繋げる。 ・在校生は近年まれにみる少数となるが、少人数教育で教育の質を充実させると共に、職員講師も学校生活におけるサポートの底上げを図る。 ・新校舎移転の準備を計画的に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> <教務目標> <ul style="list-style-type: none"> ・指導力ある講師の選定 ・カリキュラム内容の見直しと健全な授業運営 ・学校行事の見直し ・授業アンケートの分析と授業の魅力を向上させる ・授業見学による講師チェック体制 <学生募集目標> <ul style="list-style-type: none"> ・自校パンフレットの内容強化 ・WEB媒体の情報発信強化 ・高等学校・日本語学校との連携 ・自校イベント見直しと満足度の底上げ <就職目標> <ul style="list-style-type: none"> ・就職内定率 100%達成 ・インターシップの拡大・強化 ・学生情報管理の徹底 ・社会人マナーの醸成

3 評価項目別取組状況

基準 1 教育理念・目的・育人人材像

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>「人間教育」については、挨拶・整理整頓・清潔運動、校内美化、ボランティア活動の奨励などにより、社会人基礎力の向上を図っている。コロナ禍も終り、今後留学生の増加が復活してくる環境下、新しい日本観を体得するよう指導する。</p> <p>「実践教育」については、毎年だが「インターシップ」の充実化と実践的教育の実施。コロナ禍終了の折、インターシップ先企業にも復活の兆しが見えさらなる実習を進めていく。</p> <p>「国際人教育」については、こちらも新型コロナ禍の終了に伴い、留学生の入国状況が活性化し始めてきており、学校内での国際交流も充実してくるであろうと想定している。</p> <p>本校へ入学した留学生は卒業後日本で就職を希望する者も多く、国際化に貢献していきたい。</p>	<p>2020 年から続く新型コロナ流行の終了で、来日する外国人が復活する勢いで動いており、アフターコロナの新しい環境のもとで、新規留学生に新たな日本社会を知るために方策を打ち出していきたい。</p> <p>総括課題同様、実習の受け入れ先企業もだんだんと増えてきており、「インターシップ」として実学を学び、座学と両輪で指導していく。</p>	<p>新型コロナ流行の終息で、来日する外国人留学生が徐々に増えてきている。</p> <p>本校の主学科であるホテル・エアライン・トラベル系業界は新型コロナの影響をものにかぶり 2020 年以來ずっと低速飛行であったが、大分持ち返してきた特殊な事情があった。</p>

最終更新日付	2023 年 9 月 11 日	記載責任者	鈴木 康之
--------	-----------------	-------	-------

1-1 理念・目的・育成人材像

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	<input type="checkbox"/> 理念に沿った目的・育成人材像になっているか <input type="checkbox"/> 理念等は文書化するなど明確に定めているか <input type="checkbox"/> 理念等において専門分野の特性は明確になっているか <input type="checkbox"/> 理念等に応じた課程(学科)を設置しているか <input type="checkbox"/> 理念等を実現するための具体的な目標・計画・方法を定めているか <input type="checkbox"/> 理念等を学生・保護者・関連業界等に周知しているか <input type="checkbox"/> 理念等の浸透度を確認しているか <input type="checkbox"/> 理念等を社会の要請に的確に対応させるため、適宜見直しを行っているか	3 4 4 3 4 3 3 4	<p>理念等の文書化を重視し、浸透具合や確認を定期的に、講師と職員で啓蒙を徹底している。</p> <p>学校案内、ホームページに明記し、周知徹底を図り、卒業した学校の先生や保護者への周知を徹底していく。</p>	<p>昨年同様、理念や目的実現のための指針が、保護者や各企業先、卒業した学校の進路指導の先生への周知がまだまだ十分でない。</p>	<p>講師・職員同士が情報を共有し、小さい事でも話し合える環境づくりを構築する。</p>	<p>学則、就業規則 学校案内 ホームページ</p>
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 課程(学科)毎に、関連業界等が求める知識・技術・技能・人間性等人材要件を明確にしているか <input type="checkbox"/> 教育課程・授業計画(シラバス)等の策定において、関連業界等からの協力を得ているか	3 3	<p>インターシップを実施して、適合を図っている。</p> <p>関連企業からの協力を得ている。</p>	<p>アフター・コロナによるインターシップ先企業の新たな開拓と受け入れ先検索。</p>	<p>インターシップ先企業を新たに開拓し、コロナ禍以前の関係を復活・改善していく。</p>	<p>教育課程表 シラバス 実習実施要項 教育課程編成委員会記録</p>

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
1-1-2 続き	<input type="checkbox"/> 専任・兼任(非常勤)にかかわらず、教員採用において、関連業界等から協力を得ているか	3	専任・非専任教員、及び講師先生方との協力体制は充実している。また関連業界等からの連携や親交は継続しており各方面で協力を得ている。 教材の開発は特に実施していない。	アフターコロナにおける新しい関連業界との連携の強化や意見の反映。	教材の開発に向けて、各業界や講師の方々などと並行して進めていく。	3
	<input type="checkbox"/> 学内外にかかわらず、実習の実施にあたって、関連業界等からの協力を得ているか	3				3
	<input type="checkbox"/> 教材等の開発において、関連業界等からの協力を得ているか	2				2
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	<input type="checkbox"/> 理念等の達成に向け、特色ある教育活動に取り組んでいるか	4	企業実習重視のカリキュラム編成やインターンシップ、関連業界から担当者を派遣し、講義を実施している。	企業実習はインターンシップという事情もあり、ルーティン中心で中々特色が見いだせない部分が多い。	実習において偏りがちな職務担当を色々なセクションで試せる特色のあるものとしていく	4
	<input type="checkbox"/> 特色ある職業実践教育に取り組んでいるか	4				4
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	<input type="checkbox"/> 中期的(3~5年程度)な視点で、学校の将来構想を定めているか	2	ここ数年の新型コロナ問題で停滞したが、将来的な構想の再考を開始させた。	新型コロナの流行により学生数が減少したので、将来指針をあらたに考えていかなければならない。	学生募集の強化により安定した経営を取り戻すことが先決	2
	<input type="checkbox"/> 学校の将来構想を教職員に周知しているか	2				2
	<input type="checkbox"/> 学校の将来構想を学生・保護者・関連業界等に周知しているか	2				2

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
測年同様、日本版デュアルシステム、インターンシップによる、企業実習を重視したカリキュラム編成を特徴としている。さらに企業実習からインターンシップへ変革していき、関連業界との連携を深め、求められる人材育成に努めていく。	新型コロナの影響で、本校の主学科であるホテル・エアライン・トラベル系業界の事業縮小が続いたが、今期に入り大分復調の兆しが見えてきた。

最終更新日付	2023年9月12日	記載責任者	鈴木 康之
--------	------------	-------	-------

基準 2 学校運営

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>18歳人口の減少・大学進学率の向上・競合他校の乱立により、日本人の入学者は依然として厳しい。それに加え、新型コロナウイルスの影響により入国がままならない時期の学生が新入生であることは変わりなく、令和4年も僅少の学生数でスタートした。</p> <p>日本人については高校生4名と社会人1名の計5名入学。昨年より3名増であるものの、依然厳しい状況に変わりはない。</p> <p>外国人留学生についても学生を募集する日本語学校に卒業予定の学生がいないという状況が昨年と同様であり、引き続き苦難の1年であった。</p> <p>日本語学校への生徒の入学や日本入国は進み始めたものの、入学者の回復はまだまだ時間がかかることが予想される。ホテル・観光業界の復活の兆しや待遇改善などの魅力を伝え、入学者獲得をするのが引き続きの課題である。</p>	<p>留学生の在籍復活により、募集先の日本語学校ではクラスや授業が増え、進学指導の先生との時間がとりにくくなっている。</p> <p>先生からの問い合わせがあった際に情報交換をし各日本語学校と当校との交流を深めるようにしている。</p> <p>ホテル業界の求人は復活傾向であるものの、在校生の動き出しにはばらつきがある。</p> <p>ホテル業界への不安をぬぐい切れない者、自分の適性に迷いを感じるもの、地域を限定して就職を考えている者など、それぞれの希望とカラーに合わせた就職指導およびマッチングが喫緊の課題である。</p> <p>教育理念に「国際人教育」となるものの、入学者の国籍に偏りが見られる。</p> <p>広く学校を知ってもらうことに加え、口コミや日本語学校の先生を通じて、より多国籍の生徒に当校を認知してもらえるように、営業活動やインターネットでの発信に努める。</p>	<p>日本人・外国人留学生とも入学者減少</p> <p>WEBでの学校情報発信の強化</p>

最終更新日付

2023年6月1日

記載責任者

西端 茂和

2-2 運営方針

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	<input type="checkbox"/> 運営方針を文書化するなど明確に定めているか	4	事業計画書を作成し運営方針を定めている。 年度末に事業計画の策定と発表を行い、周知を行っている。 年度初めには前年度の事業報告を発表している。	目標・運営方針が理解度や浸透にばらつきがある。	事業計画を事務局内に掲示し意識をさせる。 また朝礼や定期的なミーティングを通じて、目標と事業方針を定期的に確認し浸透させる。	事業計画書 事業報告書
	<input type="checkbox"/> 運営方針は理念等、目標、事業計画を踏まえ定めているか	4				
	<input type="checkbox"/> 運営方針を教職員等に周知しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 運営方針の組織内の浸透度を確認しているか	3				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
運営方針と目標を明確にし、文書と発表による周知を行っている。 目標を定期的に確認・周知徹底している。	

最終更新日付	2023年6月1日	記載責任者	西端 茂和
--------	-----------	-------	-------

2-3 事業計画

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	<input type="checkbox"/> 中期計画（3～5年程度）を定めているか	3	中期計画・単年度の事業計画とも定めている。	事業計画を定めて対応をしているが	中期計画の周知徹底。単年度事業計画の進捗管理、見直しの実行。法人本部から現場への働きかけと管理・指導。	事業計画書
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画を定めているか	4				
	<input type="checkbox"/> 事業計画に予算、事業目標等を明示しているか	4	事業計画に対し進捗を確認し、適宜見直しを行っている。	退学者は減少。授業満足度も向上し、就職率も保持。学校運営での問題は起こっていないが、学生募集のみ苦戦している。	学生募集体制の見直し。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画の執行体制、業務分担等を明確にしているか	4				
	<input type="checkbox"/> 事業計画の執行・進捗管理状況及び見直しの時期、内容を明確にしているか	3	明確化され、軌道修正する仕組みを整えている。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
中期計画と単年度計画は明確化され、事業を推進している。法人内で見直しをかける仕組みがある。	

最終更新日付	2023年6月1日	記載責任者	西端 茂和
--------	-----------	-------	-------

2-4 運営組織

小項目	チェック項目	評価	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	<input type="checkbox"/> 理事会、評議員会は寄附行為に基づき適切に開催しているか	4	理事会、評議員会は適切に開催されている。	適切である。	今後も適切に運営していく。	寄付行為 理事会議事録 評議員会議事録
	<input type="checkbox"/> 理事会等は必要な審議を行い、適切に議事録を作成しているか	4	理事会や審議においては議事録の作成を行い、寄付行為は適切に改正されている。			
	<input type="checkbox"/> 寄附行為は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか	4				
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	<input type="checkbox"/> 学校運営に必要な事務及び教学組織を整備しているか	4	理事と校長で随時会議を開催し連携をとっている。	規則、規定は整備されている。	必要に応じて改善する。	寄付行為 就業規則 組織図
	<input type="checkbox"/> 現状の組織を体系化した組織規程、組織図等を整備しているか	4	組織図や業務体制表を作成し業務分掌を明確にし、業務にあたっている。			
	<input type="checkbox"/> 各部署の役割分担、組織目標等を規程等で明確にしているか	3				
	<input type="checkbox"/> 会議、委員会等の決定権限、委員構成等を規程等で明確にしているか	3	決済方法も寄付行為に則っている。			
	<input type="checkbox"/> 会議、委員会等の議事録（記録）は、開催毎に作成しているか	3				
	<input type="checkbox"/> 組織運営のための規則・規程等を整備しているか	3	就業規則により、諸規則は定められている。			
<input type="checkbox"/> 規則・規程等は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか	3					

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-4-2 続き	□学校の組織運営に携わる事務職員の意欲及び資質の向上への取組みを行っているか	3	事務職員の意欲、資質向上を鑑み、組織改革を実施している。	各職員の業務知識の底上げを行い、部署を横断して対応できる能力とモチベーション	適材適所の業務配置、評価の方法 社内研修・面談等	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理事会・評議員会・校長会議は適切に開催されており、寄付行為も適切に定められている。 また、就業規則も整備されており、職員の意欲、資質向上への取り組みは、組織改革、職務分掌の明確化により行っている。	組織改革、職務分掌の明確化。

最終更新日付	2023年6月1日	記載責任者	西端 茂和
--------	-----------	-------	-------

2-5 人事・給与制度

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	<input type="checkbox"/> 採用基準・採用手続きについて規程等で明確化し、適切に運用しているか	3	就業規則を基本とし、各分野の諸規則は整備済みである。 採用活動については公共職業安定所に加え、WEB 媒体も準備し活用している。	定期採用を行わず、適宜欠員や必要に応じて採用しているため、うまく採用できない場合がある。 求人媒体を十分に準備しても、資質や入社時期が合致せず採用に至らない場合もある。	適材適所の配置を行う。 採用する人物を良く見極め個人の指導業務や事務処理能力を高めていく必要がある。 人事の変更にスピーディーに対応できるように求人関連の業務も準備を進めておく。	就業規則 賃金規定
	<input type="checkbox"/> 適切な採用広報を行い、必要な人材を確保しているか	3				
	<input type="checkbox"/> 給与支給等に関する基準・規程を整備し、適切に運用しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 昇任・昇給の基準を規程等で明確化し、適切に運用しているか	3				
	<input type="checkbox"/> 人事考課制度を規程等で明確化し、適切に運用しているか	3				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就業規則、賃金規定は整備されているが、定期的な採用を行っていないため、適正な人材確保ができていないと言えない。	

最終更新日付	2023年6月1日	記載責任者	西端 茂和
--------	-----------	-------	-------

2-6 意思決定システム

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	<input type="checkbox"/> 教務・財務等の事務処理において、意思決定システムを整備しているか <input type="checkbox"/> 意思決定システムにおいて、意思決定の権限等を明確にしているか <input type="checkbox"/> 意思決定システムは、規則・規程等で明確にしているか	4 4 3	理事会、評議員会、法人本部、校長会議、職員会議等により意思決定する。 その他稟議制度も整備されている。	意思決定システムは整備されているが、規則・規定等で明確になっていない部分がある。	方針を明確にし、意思決定を迅速に行う。事案に対して、ミーティングを設け速やかに意思決定していく。	寄付行為 決裁権限

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
意思決定システムは整備されており、直面している諸問題に対し、適切に意思決定できている。	部門別ミーティング、校長会議、職員会議等により、意思決定を速めている。

最終更新日付	2023年6月1日	記載責任者	西端 茂和
--------	-----------	-------	-------

2-7 情報システム

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-7-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	<input type="checkbox"/> 学生に関する情報管理システム、業務処理に関するシステムを構築しているか <input type="checkbox"/> これらシステムを活用し、タイムリーな情報提供、意思決定が行われているか <input type="checkbox"/> 学生指導において、適切に（学生情報管理）システムを活用しているか <input type="checkbox"/> データの更新等を適切に行い、最新の情報を蓄積しているか <input type="checkbox"/> システムのメンテナンス及びセキュリティー管理を適切に行っているか	4 3 3 3 4	学籍管理システム・学生募集システムを導入し適切に運用されている。	人手不足や業務量によりタイムリーに入力作業をおこなえない場合がある。	優先度の高い情報については速やかに職員内で情報を共有し、学籍管理システムへの入力を手分けして行い常に最新情報が記入されるシステム運用に務める。	学籍管理システム 学生募集システム

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学籍管理システムと学生募集に特化したシステムを導入することにより、学生の管理を充実させ、業務も効率化していく。	

最終更新日付	2023年6月1日	記載責任者	西端 茂和
--------	-----------	-------	-------

基準 3 教育活動

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>新型コロナの流行もひと段落が付き、本校の主たるサービス業界も復調の兆しが見え始めた最中、各企業様との連携を再構築し、インターンシップの再スタートを、そして、座学と実習を組み合わせたプログラムによりプロフェッショナル人材の育成を強化していく。</p> <p>また学生数の減少により、カリキュラムや学校スケジュール等、また実習受入れや就職先企業に支障をきたす場面が多々見受けられた。次年度課題として余裕を持ったスケジューリングにつとめ、スムーズな授業運営を目指す。</p> <p>外国人留学生においてはベトナム出身者が多数占め、国籍にも偏りが目立ってきたが、大半が卒業後は日本での就労を望んでいるため、日本語学習や日本社会への理解力の強化と就職に向けた社会人に向けての講義講座の充実化等、学生のニーズそったカリキュラム編成に努めることが課題となる。</p>	<p>企業との連携を強化し、より実践的な授業運営に努めていく。また、授業内容も社会人教育を重視し、特に外国人留学生には日本語力の向上と日本での社会生活の重要性を繰り返し指導し、企業や業界の要望に応えられるような整備を図り、就職に強い学校を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入学前志望動機確認 ・ 学生生活のフォロー ・ 学生面談を定期的実施 ・ ・ 実習受入れ企業開拓 ・ 企業実習スケジュール立案 ・ 実習後の評価のおねがい ・ ・ 日本語スキル別クラスの増強（留学生） ・ 日本社会への適応力強化（留学生） ・ 職業指導の強化とコンプライアンスの徹底 	<p>新型コロナウイルスの流行によりあらゆる部門で弊害が出ていた。</p>

最終更新日付

2023年6月1日

記載責任者

鈴木 康之

3-8 目標の設定

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	<input type="checkbox"/> 教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか <input type="checkbox"/> 職業教育に関する方針を定めているか	4 4	教育課程編成委員会との連携で方針決定。 実習実施計画策定。	理念と実情との兼ね合いを鑑み実現可能な教育課程を作成。	文書化のより効率化。	教育課程表 実習実施要項
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	<input type="checkbox"/> 学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか <input type="checkbox"/> 教育到達レベルは、理念等に適合しているか <input type="checkbox"/> 資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか <input type="checkbox"/> 資格・免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導・支援体制を整備しているか	4 3 3 3	到達レベルを明示している。 理念を元に作成。 教育理念に基づき資格取得に向けたカリキュラムを構築。 授業での取り組みのほか、個別面談等での対応。	学生への仕上がり像理解促進。 理念の明示。 留学生の日本語系資格。 レベルに合わせた授業運営。	仕上がり像およびカリキュラム説明の強化。 構内掲示等、学生への理念周知徹底。 必受験科目の受講料徴収方法。 選択もしくはレベル別授業運営。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各項目の習熟度は把握できている。 本校における日本の社会人を目指した人材育成、目標到達に沿ったプログラムの実現。人間教育・資格取得・現場力強化の三本の柱の取り組みに傾注。	

最終更新日付

2023年6月1日

記載責任者

鈴木 康之

3-9 教育方法・評価等

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	<input type="checkbox"/> 教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか	3	教育課程編成委員会を設け、教育課程の編成を行っている。	規定の不備あり 企業実習が実習先により異なる場合がある。	実習先と連携を深める	教育課程表 教育課程編成委員会議事録
	<input type="checkbox"/> 議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか	3	専門科目、一般科目の配分や、必修科目と選択科目の配分を適切に行っている。	業界のニーズに合致していない部分がある	教育課程編成委員会に業界の委員を迎え、ニーズに合った編成としていく。	
	<input type="checkbox"/> 授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか	4	授業時数、単位数を明示している。	実習先企業によって、ばらつきがある	企業やその担当の方との情報交換など積極的に協力体制を構築する	
	<input type="checkbox"/> 授業科目の開設において、必修科目、選択科目を適切に配分しているか	3	授業の目標を達成するため、企業実習、座学を適切に行っている。	講師とコミュニケーション機会の拡充		
	<input type="checkbox"/> 修了に係る授業時数、単位数を明示しているか	4	全講師にシラバス作成提出を義務付け、管理している	コロナ禍での実習機会の確保と実施がきびしい		
	<input type="checkbox"/> 授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか	3	授業評価アンケート 講師面談 講師会の実施	シラバス内容の検証		
	<input type="checkbox"/> 授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか	4	企業実習。			
	<input type="checkbox"/> 授業科目の目標に照らし、授業内容・授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 職業実践教育の視点で、授業科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか	4				

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-9-1 続き	<input type="checkbox"/> 職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等工夫しているか <input type="checkbox"/> 単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか <input type="checkbox"/> 授業科目について、授業計画（シラバス・コマシラバス）を作成しているかを <input type="checkbox"/> 教育課程は定期的に見直し改定を行っているか	4 4 4 3	<p>学科ごとにシラバスを作成し、毎年、教育課程の見直しを行っている。作成している。</p> <p>学科ごとの教科内容確認</p>	備品・教材・機材などのハード部分の管理	<p>教育課程編成委員会による第三者委員によるアドバイスの採用。</p> <p>学習状況等の見直しを定期的に行う。</p>	実習実施要項 実習評価表 シラバス
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	<input type="checkbox"/> 教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか <input type="checkbox"/> 教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか <input type="checkbox"/> 職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか	4 3 4	<p>在校生・講師・卒業生・企業からのアンケート調査を実施。</p> <p>実習評価表を企業からもらっている。</p>	<p>在校生の意見が必ずしも業界のニーズに合わない場合がある。</p> <p>評価基準の統一化を図る。</p>	<p>アンケート集計方法およびヒアリング方法の検討。</p> <p>卒業生との交流会のようなものを模索している。</p>	実習評価表
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	<input type="checkbox"/> キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか <input type="checkbox"/> キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか	3 3	<p>教育課程編成の中で定めている。</p> <p>外部講師の授業を実施するなど工夫している。</p>	<p>ニーズトレンドが掴みきれしていない。</p> <p>講師との打ち合わせを密にしていきたい。</p>	<p>学生への教育方針・理念の周知徹底。</p> <p>講師との打ち合わせを密にしていきたい。</p>	シラバス

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-9-3 続き	□キャリア教育の効果について卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか	3	企業担当者への面談連絡	効果測定 卒業生に委託	就職先・卒業生との交流、連携。 OB名簿のメンテナンス	
3-9-4 授業評価を実施しているか	□授業評価を実施する体制を整備しているか □学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか □授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか □教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか	4 4 3 4	授業見学、 授業担当者との面談。 アンケートを実施しており、集計結果を講師会で発表している。 授業内容を反映した運営方針を講師会内で説明。	アンケート内容の確認、検証しフィードバックする。 学生の評価を正確に評価することが難しい。 担任や就職指導担当者との個別面談の機会確保しフィードバック。	総合的評価の仕組みを作る。 授業の見学・巡回。効果測定の実施。学生との関係を密にし面談などによる聞き取り。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生や講師との個別面談、各種アンケートや授業見学等を行い、授業満足度、授業内容の改善をして効率的な授業を完成させるようフィードバックし、また、卒業生との連携を一層深いものとする。	

最終更新日付	2023年6月1日	記載責任者	鈴木 康之
--------	-----------	-------	-------

3-10 成績評価・単位認定等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	<input type="checkbox"/> 成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか <input type="checkbox"/> 成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか	4 4 3	成績評価は学則に規定し明示している。 進級、卒業判定会議を実施して成績評価を行っている。 入学時の単位認定は明確とは言えない。	単位認定につき客観的規定がない。	規定の整備	学則 学生便覧
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	<input type="checkbox"/> 在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか	3	学校で奨励しているコンテスト等は職員が引率している。	コンテストへの参加者が限られている。	学内コンテストの実施。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価の基準については公開しているので客観性・統一性を確保していると思う。 また評価そのものは学則に明示しているが、単位認定は明確になっていない。整備が必要。	

最終更新日付	2023年6月1日	記載責任者	鈴木 康之
--------	-----------	-------	-------

3-11 資格・免許取得の指導体制

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	<input type="checkbox"/> 取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか <input type="checkbox"/> 資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか	4 4	シラバスで明確にしている。 年間行事予定で明示している。 オリエンテーションで説明。	受験は任意で、受験しないものがある。	目標意識を持たせる。	シラバス 資格試験奨励制度
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	<input type="checkbox"/> 資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか	4 4	できている。 不合格者、卒後の指導体制はできている。	指導体制の未整備	資格取得奨励金制度の整備	シラバス

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
シラバスや年間行事予定で明示し、説明もしているが、受験しないものがある。いかに目的意識を持たせ、合格率を上げるかが課題である。 また、受験者の合格率をいかに上げるか、授業や補講などの再考。	

3-11 (1/1)

最終更新日付	2023年9月12日	記載責任者	鈴木 康之
--------	------------	-------	-------

3-12 教員・教員組織

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	□授業科目を担当するため、教員に求める能力・資質等を明確にしているか	4	教員の採用に当たって、履歴書等により、必要な資格、資質、経験を確認している。 しかし明確な基準、規定は定められていない。	教員の能力、資質、資格等の明確化。	教育課程編成委員会で明確化を進める。	履歴書 職務経歴書 採用情報
	□授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか	4				
	□教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか	4				
	□教員採用等人材確保において、関連業界等との連携しているか	4				
	□教員の採用計画・配置計画を定めているか	4				
	□専任・兼任（非常勤）、年齢構成、男女比など教員構成を明示しているか	3				
	□教員の募集、採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めているか	3				
	□教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか	4				

3-12 (1/2)

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-12-2 教員の資 質向上への取組 みを行っている か	<input type="checkbox"/> 教員の専門性、教授力を把握・評価しているか <input type="checkbox"/> 教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 関連業界等との連携による教員の研修・研究に取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 教員の研究活動・自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか	3 3 3 3	教員の評価はしているが、研修計画、研修制度は確立されていない。	研修制度の整備	教育課程編成委員会で整備する。	
3-12-3 教員の組 織体制を整備し ているか	<input type="checkbox"/> 分野毎に必要な教員体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか <input type="checkbox"/> 学科毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか <input type="checkbox"/> 授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか <input type="checkbox"/> 専任・兼任（非常勤）教員間の連携・協力体制を構築しているか	4 3 3 3 3	分野ごとに必要な教員体制は整備されているが、教員組織が確立されておらず、教員間の連携、協力体制は不十分である。	教員組織の整備	教員組織整備	

3-12 (2/2)

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
専門的知識、技能を持った教員の確保に努めている。 研修制度・キャリア開発、支援の整備が不十分である。 教員の資質の明確化、研修体制、組織の整備が必要である。	

最終更新日付	2023年6月1日	記載責任者	鈴木 康之
--------	-----------	-------	-------

基準 4 学修成果

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>新型コロナの問題もようやく終わりに近づいて、各業界も次第に元気になりつつある状況下、就職率については、日本人は昨年引き続き好調であったが、留学生は日本語能力の問題で不合格になったものもいた。ただ、地方のリゾート系ホテルに採用されたり、求人数の増加傾向がみられるなど、こちらも明るい兆しも見えてきている。</p> <p>引き続き、情報収集に努め、優良企業への就職を目指していく。また、留学生は日本語能力の向上に努め、就職率アップにつなげていく。</p> <p>資格取得については、留学生の日本語能力試験のN2を全員に取らせたいが、やはり100%という結果には至らなかった。今年度も有用かつ就職につながる資格取得、合格率の向上に努めていく。</p> <p>卒業生の情報は把握できておらず、関係の強化に努力していく。</p>	<p>アフターコロナを見据え、社会のニーズに合った人材育成に努めていく。</p> <p>そのためにカリキュラムには日本社会における特殊性やマナーやサービス心の向上につなげていくものを中心として作り、また、キャリアガイダンスなど、就職対策の授業を充実させていく。</p> <p>留学生に対しては、日本語能力向上のため、能力別に授業を行い、日本語能力試験の受験を必須とする。</p> <p>さらに、企業との連携を深め、実習から就職につなげていく。</p> <p>卒業生とは、ホームページ、SNSなどを活用し、情報交換を深めていきたい。</p>	

最終更新日付

2023年6月1日

記載責任者

鈴木 康之

4-13 就職率

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
4-13-1 就職率の向上が図られているか	<input type="checkbox"/> 就職率に関する目標設定はあるか	4	<p>昨年度と比較し、求人数は爆発的に増加している。特にホテル業界はインバウンドの受け入れ再開に伴う急激な需要増の影響で募集が活発化しているため、LINE等を活用して迅速に求人紹介を行っている。</p> <p>説明会は適宜実施しているが、学生数が少なく興味を持って応募する企業に偏りがあるため多くの企業の説明会実施には至っていない。</p>	<p>求人票閲覧やその管理が紙媒体であるためDX化の一貫としてデータ化を推進していく必要がある。</p> <p>企業の求める語学力レベルがインバウンド需要等の影響によりさらに高くなっており、応募条件を満たさない学生達の就職活動鈍化に繋がってしまっている。</p> <p>地方求人も多くあるが、都心への就職希望者が圧倒的多数であるため、特定の企業に応募が集中してしまう。</p>	<p>求人票管理システムの導入やフォーマットの改善、データ管理方法の最適化を行う。</p> <p>留学生に関してはN1やN2取得率向上を目指し、邦人学生はTOEIC600以上の取得を目指せるよう講師陣とのさらなる密な連携を取っていき、応募機会損失の低減を図っていく。</p> <p>地方への関心を広げるべく地方就職した卒業生や企業の方と学生が直接コンタクトできる機会を増やしていく。</p>	
	<input type="checkbox"/> 学生の就職活動を把握しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 関連する企業等と共催で「就職セミナー」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 就職率等のデータについて適切に管理しているか	3				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>求人数はホテル業を中心にコロナに関する規制緩和やインバウンド解禁に伴い爆発的に増加した。しかし、都心部を中心に高度な英語力を求める傾向があり、学生たちにとって有効求人とはなっていないという現状がある。</p> <p>喫緊の課題としては日本語や英語力の強化が挙げられる。</p>	

最終更新日付	2023年6月1日	記載責任者	安部 零士
--------	-----------	-------	-------

4-14 資格・免許の取得率

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
4-14-1 資格・免許の取得率の向上が図られているか	<input type="checkbox"/> 資格・免許取得率に関する目標設定はあるか	3	到達目標を掲げている 授業枠外の補講は考えていない（授業で完結）	合格実績と指導方法の関係性の確認 合格率を上げる指導方法の確認 より有用な資格の選定	社会のニーズに合った資格の選定を行い、受験する資格を決めていく。	
	<input type="checkbox"/> 特別講座、セミナーの開講等授業を補完する学習支援の取組はあるか	2				
	<input type="checkbox"/> 合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか	2				
	<input type="checkbox"/> 指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか	3				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
目標を設定し、実績、合格率等を把握しており、指導方法の検討も行っているが、より有用な資格の選定が必要である。留学生の日本語関連の資格取得の重要性は詳細を伝達できたかと思う。	

最終更新日付	2023年6月1日	記載責任者	鈴木 康之
--------	-----------	-------	-------

4-15 卒業生の社会的評価

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	<input type="checkbox"/> 卒業生の就職先の企業・施設・機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか <input type="checkbox"/> 卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか	3	人事課・採用担当者から卒業生の近況確認、	企業訪問できていない	インターネットを積極的活用 (面談、打合せなど)	
		2	未確認	卒業生と交流不足	卒業生を招待したイベント企画など	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学校法人として卒業生の就職先企業へ訪問し、卒業生の動向や情報を収集することが優先される。	

最終更新日付	2023年6月1日	記載責任者	鈴木 康之
--------	-----------	-------	-------

基準 5 学生支援

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>就職支援は、就職課を中心に行ってきたが、組織を改編し、就職担当と担任、教務が連携して行っている。講師陣との連携も強化し、授業時に判明した学生個人の課題感や学生達の就職活動状況などを細やかに共有することで、職員と講師で共通意識を持って就職支援につなげている。</p> <p>中途退学防止については、職員間で情報を共有し、個別面談の実施等により、未然に防ぐ努力をしている。</p> <p>学生相談は専門のカウンセラーは設置していないが、担任、教務が中心となり、職員全員で適宜行っている。</p> <p>保護者との連携、社会人との対応はできていない。</p>	<p>就職、中途退学防止、学生相談については一体として考えるものであり、職員それぞれが、学生とのコミュニケーションをとることを心掛けなければならない。組織の改編を行い、マンネリを打破していく。</p> <p>担任による個人面談を年2回行っているが、就職担当において就職等進路に関する面談、教務担当においては、出席不良、成績不良、学費等に関する面談を随時行っていく。</p>	<p>学生たちとの面談結果や相談内容といったものは職員同士で情報共有や連携ができるよう専用システム上で管理している。</p>

最終更新日付

2023年6月1日

記載責任者

安部 零士

5-16 就職等進路

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	□就職など進路支援のための組織体制を整備しているか	4	<p>職員内での連携体制や情報の共有は随時行っているが、手作業での追跡作業のため情報の更新に時間を要している。</p> <p>企業間との連携に関しては説明会やインターンシップといった形で就職に繋がる取組みを随時行っている。</p> <p>学生の就職活動状況などを専任講師だけでなく、全体で共有し、学校全体で学生へのアドバイスや指導を強化している。</p> <p>また、学生個人の就職活動や学校生活等における悩みや相談毎も担当間で共有し、LINEなども活用し、適切なフォローを行えるよう取り組んでいる。</p>	<p>ホテル業界は回復傾向にはあるものの、コロナ禍で打撃を受けた業界への就職を目指すこととなるため、本人や親御様の不安払拭を行う必要がある。</p> <p>留学生の中には N2 未取得者や日本語能力に課題のある者がおり、その学生達が思うように就職活動を進めることができないている。</p> <p>基本的には N2 を取得させ、技人国ビザでの就職を目指すのが、難しい学生や本人の強い希望があった場合は特定技能ビザの進路決定も視野に入れる必要がある。</p>	<p>各企業とも連携をとり、授業内や就職指導時に学生へ今後のホテル業界のビジョンを理解させ、不安感の払拭に繋げる。</p> <p>例年異業界への就職希望をする学生がいることを考慮し、異業界企業との関係づくりや就職対策も強化していく。</p> <p>言語能力向上に向けて教務課とも連携を強化していく。</p>	
	□担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか	4				
	□学生の就職活動の状況を学内で共有しているか	4				
	□関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか	4				
	□就職説明会等を開催しているか	4				
	□履歴書の書き方、面接の受け方など具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか	4				
	□就職に関する個別の相談に適切に応じているか	4				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職等進路指導体制は整備されており、担任と就職担当間の連携も取れている。情報共有や説明会も適宜実施している。業界との連携もある程度できているが、今年度は学生数の減少により連携できる企業数が限られてしまっている。	

最終更新日付	2023年6月1日	記載責任者	安部 零士
--------	-----------	-------	-------

5-17 中途退学への対応

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
5-17-1 退学率の低減が図られているか	<input type="checkbox"/> 中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか	4	担当者が職員全体に周知を行っている。	遅刻や休みが多い学生の指導が担任だけでは間に合わない。	担任のみならず担任を持っていない職員とも連携をし学生の指導にあたる。	
	<input type="checkbox"/> 指導経過記録を適切に保存しているか	4	学生の指導記録は、紙媒体とオンラインで行っている。			
	<input type="checkbox"/> 中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか	4	職員全員で学生に声かけを行い。定期的に学生面談を行っている。			
	<input type="checkbox"/> 退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか	4				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生の情報共有は職員全体で逐一行い。退学を未然に防ぐよう努力している。	

最終更新日付	2023年6月1日	記載責任者	高島 晴花
--------	-----------	-------	-------

5-18 学生相談

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか <input type="checkbox"/> 学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか <input type="checkbox"/> 相談記録を適切に保存しているか <input type="checkbox"/> 関連医療機関等との連携はあるか <input type="checkbox"/> 卒業生からの相談について、適切に対応しているか	3 1 1 4 1 4	担任や職員で、個別面談を行っている。 紙媒体とオンラインで保存を行っている。 卒業後気になる学生にはこちらから連絡を行っている。また、連絡があった場合にはきちんと話しを聞くようにしている。	専任カウンセラーの配置を行えていない。	専任カウンセラーは今だいないが、行政が行っている相談室などのポスターの掲示や案内などは学生に伝えている。	
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 留学生の相談等に対応する担当の教職員を配置しているか <input type="checkbox"/> 留学生に対して在籍管理等生活指導を適切に行っているか <input type="checkbox"/> 留学生に対し、就職・進学等卒業後の進路に関する指導・支援を適切に行っているか <input type="checkbox"/> 留学生に関する指導記録を適切に保存しているか	4 4 4 4	就職・進路担当者を設置し、1・2年生共に就職の授業を行っている。 紙媒体とオンラインで保存を行っている。	日本語レベルが低い学生は職員に相談せず悩み等隠してしまうケースがある。	話しやすい環境を作り、こちらからも声掛けを行っていく。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
専任のカウンセラーの配置はまだ出来ていないが、行政が行っている相談室の存在を学生に伝えている。また、今でも定期的に個人面談を行っている。留学生に関しては、なるべく沢山声掛けを行い私生活の話聞き、情報把握に努めている。	

最終更新日付	2023年6月1日	記載責任者	高島 晴花
--------	-----------	-------	-------

5-19 学生生活

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 学校独自の奨学金制度を整備しているか <input type="checkbox"/> 大規模災害発生時及び家計急変時等に対応する支援制度を整備しているか <input type="checkbox"/> 学費の減免、分割納付制度を整備しているか <input type="checkbox"/> 公的支援制度も含めた経済的支援制度に関する相談に適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 全ての経済的支援制度の利用について学生・保護者に十分情報提供しているか <input type="checkbox"/> 全ての経済的支援制度の利用について実績を把握しているか	4 3 4 3 3 3	奨学金制度、学費サポートプランの実施。 減免制度の実施。 希望者には入学前に公的支援制度を含めた経済的支援制度についての資料を配布している。	奨学金制度を利用した学生は毎年多数いるが、申請が難しく一人で申請を行えない学生もいる。	学校が作成したマニュアルの配布や一人で申込が出来ない学生は学校に呼び申請のサポートを行っている。	
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 学校保健計画を定めているか <input type="checkbox"/> 学校医を選任しているか <input type="checkbox"/> 保健室を整備し専門職員を配置しているか <input type="checkbox"/> 定期健康診断を実施して記録を保存しているか <input type="checkbox"/> 有所見者の再健診について適切に対応しているか	3 2 2 4 4	年1回、健康診断を実施。 再健診の学生には必ず声をかけ病院に行くよう指導している。	学校医不在の為学生の健康管理について。	年1回、健康診断を行っている医療センターと連携を取り、学生の健康状況を把握していく。また行政から送られてくる健康に関するポスターなどは掲示を行っている。	健康診断記録

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-19-2 続き	<input type="checkbox"/> 健康に関する啓発及び教育を行っているか <input type="checkbox"/> 心身の健康相談に対応する専門職員を配置しているか <input type="checkbox"/> 近隣の医療機関との連携はあるか	2 1 3	体調不良の学生に関しては、近隣の病院の紹介。			
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 遠隔地から就学する学生のための寮を整備しているか <input type="checkbox"/> 学生寮の管理体制、委託業務、生活指導体制等は明確になっているか <input type="checkbox"/> 学生寮の数、利用人員、充足状況は、明確になっているか	4 4 4	学生寮の設置。 定期的に寮生と面談を行っている。	寮を専任で管理してくれる方がいない。	学生と定期的に面談を行い。問題がないか、確認。また、寮に行き様子を確認する。	学生寮規約
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> クラブ活動等の団体の活動状況を把握しているか <input type="checkbox"/> 大会への引率、補助金の交付等具体的な支援を行っているか <input type="checkbox"/> 大会成績など実績を把握しているか		現在は、クラブ活動等行っていない。 学生から希望があった場合は、検討していく。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
奨学金に関しては、入学前から相談窓口を設け入学後金銭的な悩みが少なくなるようサポートしている。学生の健康管理に関しては、専門職員は在籍していないが健康診断を必ず受けさせていることや小まめに学生へ声かけなどを行い学生の心身の変化に注意を払っている。	

最終更新日付	2023年6月1日	記載責任者	高島 晴花
--------	-----------	-------	-------

5-20 保護者との連携

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか	<input type="checkbox"/> 保護者会の開催等、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行っているか	2	保護者の連絡先を把握。	保護者の現在の状況など最新情報が少ないように感じる。	学生との面談の際にご家族の状況なども併せて聞いていく。	
	<input type="checkbox"/> 個人面談等の機会を保護者に提供し、面談記録を適切に保存しているか	3				
	<input type="checkbox"/> 学力不足、心理面等の問題解決にあたって、保護者と適切に連携しているか	3				
	<input type="checkbox"/> 緊急時の連絡体制を確保しているか	3				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
出席率の事や学費のことなどの連絡は手紙で保護者に伝えてはいるが、学生生活の様子など報告は行っていない為、SNS等で学校行事の様子などを発信し学校の雰囲気などを伝えていく。	

最終更新日付	2023年6月1日	記載責任者	高島 晴花
--------	-----------	-------	-------

5-21 卒業生・社会人

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 同窓会を組織し、活動状況を把握しているか <input type="checkbox"/> 再就職、キャリアアップ等について卒後の相談に適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 卒業後のキャリアアップのための講座等を開講しているか <input type="checkbox"/> 卒業後の研究活動に対する支援を行っているか	2 3 1 1	卒業後の進路調査、就職先紹介。	同窓会の実施が難しい。	SNS、ホームページに学校の近況を投稿しオンライン上での交流を多くする。また、留学生に関しては定期的に学校から連絡を行っている。	
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	<input type="checkbox"/> 関連業界・職能団体等と再教育プログラムについて共同開発等を行っているか <input type="checkbox"/> 学会・研究会活動において、関連業界等と連携・協力を行っているか	2 2	夏季・冬季年2回インターンシップを行っている。	関連企業との交流をより増加させていく。	授業で行っているホテル見学や学生の実習先の企業で交流を深めていく。	
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	<input type="checkbox"/> 社会人経験者の入学に際し、入学前の履修に関する取扱いを学則等に定め、適切に認定しているか <input type="checkbox"/> 社会人学生に配慮し、長期履修制度等を導入しているか <input type="checkbox"/> 図書室、実習室等の利用において、社会人学生に対し配慮しているか <input type="checkbox"/> 社会人学生等に対し、就職等進路相談において個別相談を実施しているか	2 2 2 3	現在社会人学生はいないが、在籍している場合は、個別面談を行っている。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>同窓会の実施が難しい為卒業した留学生には定期的に連絡を行い現在の状況などを聞いている。また、時々学校を訪れてくれる学生に同じクラスだった子も呼ぶよう話しプチ同窓会を開催している。産学連携に関しては現在授業内でホテル見学を行っている。また、新しい実習先も広がり卒業後実習先での就職が決まっている学生もいる。</p>	

最終更新日付	2023年6月1日	記載責任者	高島 晴花
--------	-----------	-------	-------

基準 6 教育環境

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>校舎の老朽化が進んできているが、施設整備は計画的に行っており、安全性や機能に特に問題はない。</p> <p>新型コロナウイルスの影響によりリモート授業を行った時期もあるが、現在は対面での授業を再開しており、通常通り校舎を使用している。</p>	<p>施設整備に関し予算を組み、計画的に優先順位を決めて進めていく。</p>	<p>事業計画において設備投資計画を策定している。</p>

最終更新日付	2022年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

6-22 施設・設備等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	<input type="checkbox"/> 施設・設備・機器類等は設置基準、関係法令に適合し、かつ、充実しているか <input type="checkbox"/> 図書室、実習室など、学生の学習支援のための施設を整備しているか <input type="checkbox"/> 図書室の図書は専門分野に応じ充実しているか <input type="checkbox"/> 学生の休憩・食事のためのスペースを確保しているか <input type="checkbox"/> 施設・設備のバリアフリー化に取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 手洗い設備など学校施設内の衛生管理を徹底しているか <input type="checkbox"/> 卒業生に施設・設備を提供しているか <input type="checkbox"/> 施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等について適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 施設・設備等の改築・改修・更新計画を定め、適切に執行しているか	3 2 2 2 2 4 2 4 3	<p>施設、設備、機器類等は老朽化が進んでいるが、計画的に整備している。</p> <p>図書室はあるが、書物の内容は不十分である。</p> <p>学生の休憩室、食事をするスペースは確保されていない。</p> <p>また、バリアフリー化は進んでいない。</p> <p>新型コロナの影響で衛生管理は行政指導の元徹底している。</p> <p>設備等の日常点検や補修は適切に対応している。エレベータ保全や防犯・警備、防災については業務契約。</p>	<p>図書室の整備 休憩室、食堂等のスペースがない。</p> <p>バリアフリー化については特に課題は設けていない。</p>	今後の改善方策を再考し、出来るところから整備を続けたい。	事業計画書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>新型コロナウイルス感染拡大による衛生管理等は、関連する公的機関からの指導を徹底した。 計画的に改修を行ってきたが、未だ設備、施設、機器類等は老朽化により整備されているとは言えない。令和6年より校舎移転の計画。</p>	<p>令和6年より校舎移転の計画。</p>

最終更新日付	2023年9月13日	記載責任者	鈴木 康之
--------	------------	-------	-------

6-23 学外実習、インターンシップ等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 学外実習等について、意義や教育課程上の位置づけを明確にしているか	4	長期および短期の実習を実施しており、実習先企業との連携も取られている。 留学生のインターシップにも取り組んでいる。 インターシップ受け入れ企業と方法を変え、有給実習や、夏季実習、冬季実習にも取り組んでいる。 実習終了後は企業からは学生の評価を回収し、その評価を基に学生と面談を実施している。	実習先企業の確保並びに実習内容の企業による差をなくす。 地域や企業による給与体系の差も可能であれば公平にしていきたい。 留学生インターシップの実施方法、時期、期間、受け入れ先等を変えたことによる効果の分析が課題である。 留学生の場合は日本語能力不足により、従事できる実習内容に一部制限がかかってしまう場合があるため、学生本人の能力向上はもちろんのこと、企業の理解を得る必要がある。	業界団体、企業、官庁と連携を図り、実習先の確保、実施方法等を検討し推進していく。 教務課とも連携し、留学生達の日本語能力を一定水準まで引き上げるための新たな課題実施などを行っていく。	実習実施要項 協定書
	<input type="checkbox"/> 学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 学外実習について、成績評価基準を明確にしているか	4				
	<input type="checkbox"/> 学外実習等について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 学外実習等の教育効果について確認しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか	4				
	<input type="checkbox"/> 卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先に行事の案内をしているか	4				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>企業実習は邦人、留学生問わず継続的に実施しており、企業との連携も取れている。給与や労働時間等を含めた実習内容の充実が課題である。</p> <p>留学生のインターシップに取り組み、実習先、実習方法、時期等を変えたことによる効果の分析が課題である。</p>	

最終更新日付	2023年6月1日	記載責任者	安部 零士
--------	-----------	-------	-------

6-24 防災・安全管理

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	<input type="checkbox"/> 学校防災に関する計画、消防計画や災害発生時における具体的な行動のマニュアルを整備しているか <input type="checkbox"/> 施設・建物・設備の耐震化に対応しているか <input type="checkbox"/> 防災・消防施設・設備の整備及び保守点検は法令に基づき行い、改善が必要な場合は適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 防災（消防）訓練を定期的に実施し、記録を保存しているか <input type="checkbox"/> 備品の固定等転倒防止など安全管理を徹底しているか <input type="checkbox"/> 学生、教職員に防災教育・研修を行っているか	3 2 3 4 3 2	<p>避難訓練等は実施しているが、計画体制は整備されていない。</p> <p>防災設備の点検維持管理は業者をお願いしている。</p> <p>建物の耐震化はできていない。</p>	建物の耐震化	令和 6 年に校舎移転の計画あり。	
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	<input type="checkbox"/> 学校安全計画を策定しているか <input type="checkbox"/> 学生の生命と学校財産を加害者から守るための防犯体制を整備し、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 授業中に発生した事故等に関する対応マニュアルを作成し、適切に運用しているか	2 2 2	<p>計画、防犯体制は周知が行き届いていない。</p> <p>外国人留学生が多く、理解度にばらつきがある。</p>	安全管理体制の整備と学内の周知徹底	学生や講師との連絡報告を密にし、ミーティング等で情報共有をする。	

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
6-24-2 続き	<input type="checkbox"/> 薬品等の危険物の管理において、定期的にチェックを行うなど適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 担当教員の明確化など学外実習等の安全管理体制を整備しているか	3 2	危険物は特にない。 担当教員は定めていない。 学外での安全管理体制は外部にゆだねている。	危険物を持ち込ませない。	周知徹底	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
防災訓練も実施しているが、体制は整備されているとは言えず不十分。学外の安全管理体制は整備されていない。校舎の耐震化工事、安全管理体制の整備が課題である。	建築設備、消防設備の定期点検を実施 防災訓練を年1回実施。

最終更新日付	2023年6月1日	記載責任者	鈴木 康之
--------	-----------	-------	-------

基準 7 学生の募集と受入れ

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>日本人・外国人留学生とも依然厳しい状況である。</p> <p>日本人についてはパンフレットやホームページ、SNSの充実を図るも、首都圏の学生の大学進学希望者は増加傾向であり、地方学生については県内に留める動きが定着し、本校の出願になかなか結び付かない。日本人在校生のアンケートを元にカリキュラムや実習制度を構築するも、大きな反響にはつながっていない。</p> <p>地方学生のための学生寮を整備するも新入生の入学にはつながっていない。</p> <p>外国人留学生については日本語教育機関に少しづつ在校生が増加を始めるものの、当校分野である「ホテル業界」への希望者はコロナ前の水準には戻っていない。多くがITやビジネスへの関心が強く、ホテル業界のブラックなイメージやコロナ禍の打撃のイメージを持つ進学指導の先生がいることも事実であり、マーケットが復活傾向のなかでも当校進学希望者を確保することは依然厳しい状況に変わりはない。</p>	<p>当校 国際ホテル学科の見直し、立て直しを行い、より留学生の実務能力・日本語能力の底上げにつながるカリキュラム編成を行う。</p> <p>また、「就職に強い学校」「生徒・先生から選ばれる学校」というイメージを再度徹底し、募集活動に繋げていく。</p> <p>コロナ禍では実現できなかった学校行事や課外授業の再検討を行うと同時に、校内の特別授業についても内容を充実させ、頻度を増やす検討を始め、通常授業以外の学びのアプローチを構築する。</p> <p>新しい授業や学校行事を取り入れることにより、PR・発信力が強化され、入学者獲得に努めたい。</p> <p>また令和6年の新校舎についても告知を強め、他校に負けない設備で学びを深められることを示していく。</p> <p>学科編成について見直し、検討をすすめる。</p>	

最終更新日付	2023年6月1日	記載責任者	西端 茂和
--------	-----------	-------	-------

7-25 学生募集活動

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	<input type="checkbox"/> 高等学校等における進学説明会に参加し教育活動等の情報提供を行っているか <input type="checkbox"/> 高等学校等の教職員に対する入学説明会を実施しているか <input type="checkbox"/> 教員又は保護者向けの「学校案内」等を作成しているか	2 1 3	学校内授業や進学説明会に参加を告知をしている。 高校教員向け説明会は実施していない。 学校案内は作成したが、保護者のみ・教員向けの冊子は制作していない。	掲載内容がマンネリ化し、写真素材も代わり映えがない。 必要な情報を満たしているが新鮮味が不足しているように感じる。	入学者の意見や業者・デザイナーの意見を元に、より分かりやすく当校の魅力が伝わる誌面を作成する。 保護者・教員向けの冊子も検討する。	
7-25-2 学生募集を適切かつ効果的に行っているか	<input type="checkbox"/> 入学時期に照らし、適切な時期に願書の受付を開始しているか <input type="checkbox"/> 専修学校団体が行う自主規制に即した募集活動を行っているか <input type="checkbox"/> 志願者等からの入学相談に適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 学校案内等において、特徴ある教育活動、学修成果等について正確に、分かりやすく紹介しているか <input type="checkbox"/> 広報活動・学生募集活動において、情報管理等のチェック体制を整備しているか	4 4 4 4 3	来校型オープンキャンパス、オンライン説明会の併用で学生のニーズに合わせた情報提供を行い対応している。 学校案内・募集要項・学校ホームページを一新し、分かり易い情報提供・告知を行っている。 データベースを利用して情報管理・細かなフォローを行っている。	入学希望者が求めている情報を速やかに提供することを。 入学希望者の学校見学や個別オンライン説明の希望時間が重複し、スケジュール調整が難航するときがある。	授業内容、学生の様子内定情報など、学内の日常生活などの情報発信もHPやSNSなどを通じて定期的に行うことで幅広く周知を広げていく。 予約フォームで時間の重複が起らないようなシステムの検討・調整	学校案内 募集要項 学校ホームページ

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
7-25-2 続き	<input type="checkbox"/> 体験入学、オープンキャンパスなどの実施において、多くの参加機会の提供や実施内容の工夫など行っているか <input type="checkbox"/> 志望者の状況に応じて多様な試験・選考方法を取入れているか	4 4	今年度はオープンキャンパス開催日を月1回とオンライン説明を併用。タイムリーに情報収集できる環境を優先。書類・筆記・面接試験を総合的に審査する。	開催を周知させ、参加を促す対策が不十分であった。 オープンキャンパスでの試験・必要書類の確認の徹底。	HPのSEO対策、SNS学校訪問での告知、ポスター作成、紹介制度の活用等。 教育機関に対する明確な試験基準の共有。	学校案内 学校ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>費用対効果の悪い業者媒体を廃止し、自校ホームページとSNSでの情報発信に注力し、入学確度が高い希望者の接触を図った。</p> <p>業者に制作を依頼したパンフレットは当校の意向通りに仕上がらない場合もあることから自校でパンフレットを作成。オリジナリティあふれるものにした。</p>	<p>学校法人高村育英会グループ校として、姉妹校と連携した募集活動を進めていき、全国から幅広く認知される学校を目指す。</p>

最終更新日付	2023年6月1日	記載責任者	西端 茂和
--------	-----------	-------	-------

7-26 入学選考

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	<input type="checkbox"/> 入学選考基準、方法は、規程等で明確に定めているか <input type="checkbox"/> 入学選考等は、規程等に基づき適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 入学選考の公平性を確保するための合否判定体制を整備しているか	3 4 4	日本人はAO・推薦・一般の出願区分を設け、書類・筆記・面接審査で選考を行う。 留学生は日本語能力・経費支弁能力・学習意欲を書類・筆記・面接審査で厳格に実施。	日本人は選考応募者が少ない。 留学生の審査においては、わかりやすい基準と徹底した審査が必要と考える。	日本人の選考制度の告知強化。 留学生の学校説明会参加を促し、本校の教育方針やカリキュラム、入学後の学校生活をよく理解してから出願をしてもらう。	募集要項
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	<input type="checkbox"/> 学科毎の合格率・辞退率などの現況を示すデータを蓄積し、適切に管理しているか <input type="checkbox"/> 学科毎の入学者の傾向について把握し、授業方法の検討など適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 学科別応募者数・入学者数の予測数値を算出しているか <input type="checkbox"/> 財務等の計画数値と応募者数の予測値等との整合性を図っているか	4 4 3 3	<p>入学選考や入学者のデータをデータベースで管理している。</p> <p>各教育機関との情報交換や学生要望に応じて、授業体制やカリキュラム改善に役立っている。</p> <p>説明会接触者数・資料請求者から入学者見込みを算出している。</p> <p>日本人・留学生の学費関連を教務・財務と連携共有し整合性を図っている。</p>	<p>各課担当者間のデータ照合・共有を徹底し、一元管理する体制をとっている。</p> <p>各教育機関と情報共有を行う、市場研究も加え、充実したカリキュラム作成に努める必要がある。また、入学後のフォローをきめ細かく行い、授業方法や内容に反映させていく必要もある。</p>	<p>学生情報管理システムを導入し、教務・財務・学生課における情報共有・管理体制の整備に努めているが、データ入力 of 正確さ、更新の徹底に努める必要がある。</p> <p>教務課との連携を強化し、入学者の動向やニーズ、市場調査を反映したカリキュラムを構築する。</p>	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>留学生の入学選考は、書類・面接・筆記試験と厳格に実施し、結果を伝える。評価内容を確定させ、本人はもちろん、在籍日本語学校へのフィードバックを速やかに行うことで、信頼継続を実現し、学生・各教育機関から選ばれる専門学校を目指す。</p>	

最終更新日付	2023年6月1日	記載責任者	西端 茂和
--------	-----------	-------	-------

7-27 学納金

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	<input type="checkbox"/> 学納金の算定内容、決定の過程を明確にしているか <input type="checkbox"/> 学納金の水準を把握しているか <input type="checkbox"/> 学納金等徴収する金額はすべて明示しているか	4 3 4	<p>学納金の査定は適切に行われている。</p> <p>募集要項に学納金を明示している。</p>	学納金の提示や徴収に誤りがないようにする。	財務・教務と連携し適切に対処していく。	募集要項
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱いを行っているか	<input type="checkbox"/> 文部科学省通知の趣旨に基づき、入学辞退者に対する授業料の返還の取扱いに対して、募集要項等に明示し、適切に取扱っているか	4	適切に対処している。	入学辞退の場合の授業料返還について職員全員が共通理解をする。	情報共有に努め迅速に適切に対処していく。	募集要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学納金については適正に算定され、適切に取り扱っている。	

基準 8 財 務

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>多方面での合理化により、経費の削減が実現し、財務体質は安定している。</p> <p>予算の見直しを行い、適切な投資を行い、健全な学校運営を続けていく。</p> <p>コロナ禍により学生数が激減した。厳しい状況が続いているが、学生数回復に向け努力を続ける。</p>	<p>日本人学生増加のため、適切な投資を行う。</p> <p>留学生が増加傾向にあるため、魅力ある学校づくりが必要である。</p> <p>新校舎建設、移転を令和6年3月とし、新校舎建設を進めている。</p>	<p>新校舎建設・移転計画の実施。</p>

最終更新日付	2023年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

8-28 財務基盤

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	<input type="checkbox"/> 応募者数・入学者数及び定員充足率の推移を把握しているか	4	学校、学校法人の中長期的財務基盤は安定している。	安定的学生の確保	中期計画を立て、学校運営改革を進める。	事業計画書
	<input type="checkbox"/> 収入と支出はバランスがとれているか	4				
	<input type="checkbox"/> 貸借対照表の翌年度繰越収入超過額がマイナスになっている場合、それを解消する計画を立てているか	4				
	<input type="checkbox"/> 消費収支計算書の当年度消費収支超過額がマイナスとなっている場合、その原因を正確に把握しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 設備投資が過大になっていないか	4				
<input type="checkbox"/> 負債は返還可能の範囲で妥当な数値となっているか	4					
8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	<input type="checkbox"/> 最近3年間の収支状況（消費収支・資金収支）による財務分析を行っているか	4	財務分析を行っている。	財務分析の問題解消	改革の実行	事業計画書
	<input type="checkbox"/> 最近3年間の財産目録・貸借対照表の数値による財務分析を行っているか	3				

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
8-28-2 続き	<input type="checkbox"/> 最近3年間の設置基準等に定める負債関係の割合推移データによる償還計画を策定しているか	4	今後の財務改善計画を策定している。	財務改善計画の実施	改革の実行	事業計画書
	<input type="checkbox"/> キャッシュフローの状況を示すデータはあるか	3				
	<input type="checkbox"/> 教育研究費比率、人件費比率の数值は適切な数值になっているか	3				
	<input type="checkbox"/> コスト管理を適切に行っているか	3				
	<input type="checkbox"/> 収支の状況について自己評価しているか	3				
	<input type="checkbox"/> 改善が必要な場合において、今後の財務改善計画を策定しているか	3				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
中長期的財務基盤は安定している。業務の合理化、経費削減により、財務状況は改善した。さらなる改善を進めていく。	新校舎建設・移転計画の実施。

最終更新日付	2023年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

8-29 予算・収支計画

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	<input type="checkbox"/> 予算編成に際して、教育目標、中期計画、事業計画等と整合性を図っているか <input type="checkbox"/> 予算の編成過程及び決定過程は明確になっているか	4	事業計画に沿った予算編成を行っている。	財務状況の改善	改革を進める。	事業計画書
		3				
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	<input type="checkbox"/> 予算の執行計画を策定しているか <input type="checkbox"/> 予算と決算に大きな乖離を生じていないか <input type="checkbox"/> 予算超過が見込まれる場合、適切に補正措置を行っているか <input type="checkbox"/> 予算規程、経理規程を整備しているか <input type="checkbox"/> 予算執行にあたってチェック体制を整備するなど誤りのない適切な会計処理を行っているか	4	予算、計画に基づき、適正に執行されている。	財務状況の改善	改革を進める。	事業計画書
		3				
		3				
		3				
		3				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>予算は計画に基づき編成され、適正に執行されている。学生数はコロナ禍の影響により減少した。</p>	

最終更新日付	2023年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

8-30 監査

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	□私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4	適切に監査を行っている。	特になし	適切な監査を続けていく。	監査報告書
	□監査報告書を作成し理事会等で報告しているか	4				
	□監事の監査に加えて、監査法人による外部監査を実施しているか	1				
	□監査時における改善意見について記録し、適切に対応しているか	4				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
適切な監査を行っており、これを続けていく。	

最終更新日付	2023年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

8-31 財務情報の公開

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-31-1 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか	<input type="checkbox"/> 財務公開規程を整備し、適切に運用しているか	4	校内には掲示している。またホームページに掲載し公開している。	特になし	特になし	財務諸表 ホームページ
	<input type="checkbox"/> 公開が義務づけられている財務帳票、事業報告書を作成しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 財務公開の実績を記録しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 公開方法についてホームページに掲載するなど積極的な公開に取り組んでいるか	4				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校内の掲示板に掲示し、ホームページにも掲載して公開している。	

最終更新日付	2023年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

基準 9 法令等の遵守

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>関係法令、専修学校設置基準の遵守は最優先で行っており、今後も続けていく。</p> <p>また、個人情報の管理も適正に行っている。</p> <p>自己点検・自己評価の体制は整っており、年度ごとに実施している。</p>	<p>個人情報の保護管理、情報漏洩対策を徹底させていく。</p> <p>自己評価の精度を向上させていく。</p>	

最終更新日付

2023年6月1日

記載責任者

谷口 久光

9-32 関係法令、設置基準等の遵守

小項目。	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	<input type="checkbox"/> 関係法令及び設置基準等に基づき、学校運営を行うとともに、必要な諸届等適切に行っているか	4	法令、専修学校設置基準を遵守し、就業規則に基づき、適正に学校運営を行っている。	コンプライアンス意識の徹底	研究、研修を行っている	就業規則
	<input type="checkbox"/> 学校運営に必要な規則・規程等を整備し、適切に運用しているか	3				
	<input type="checkbox"/> セクシュアルハラスメント等ハラスメント防止のための方針を明確化し、防止のための対応マニュアルを策定して適切に運用しているか	3				
	<input type="checkbox"/> 教職員、学生に対し、コンプライアンスに関する相談受付窓口を設置しているか	3				
	<input type="checkbox"/> 教職員、学生に対し、法令遵守に関する研修・教育を行っているか	3				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
関係法令、専修学校設置基準を遵守し、就業規則に基づき、適正に学校運営を行っている。	

最終更新日付	2023年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

9-33 個人情報保護

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	対策を実施している。	課題の改善方策	参照資料
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	<input type="checkbox"/> 個人情報保護に関する取扱方針・規程を定め、適切に運用しているか	3	個人情報保護の対策を実施している。 学籍管理システムにより情報漏洩対策を強化している。	情報漏洩対策が完全とは言えない。	教職員の意識の啓蒙を行っていく。	
	<input type="checkbox"/> 大量の個人データを蓄積した電磁記録の取扱いに関し、規程を定め、適切に運用しているか	3				
	<input type="checkbox"/> 学校が開設したサイトの運用にあたって、情報漏えい等の防止策を講じているか	3				
	<input type="checkbox"/> 学生・教職員に個人情報管理に関する啓発及び教育を実施しているか	3				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学籍管理システムにより、個人情報保護の対策を講じているが、完全とは言えない。教職員への指導を徹底していく。	

最終更新日付	2023年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

9-34 学校評価

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	<input type="checkbox"/> 実施に関し、学則及び規程等を整備し実施しているか	3	自己評価体制を整備し、実施している。	適正な評価 評価結果の活用	評価の活用を進めている。	自己評価報告書
	<input type="checkbox"/> 実施に係る組織体制を整備し、毎年度定期的に全学で取組んでいるか	3				
	<input type="checkbox"/> 評価結果に基づき、学校改善に取り組んでいるか	3				
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	<input type="checkbox"/> 評価結果を報告書に取りまとめているか	4	報告書にまとめている。 ホームページでの公開している。	評価の精度	精度向上に努力していく	自己評価報告書
	<input type="checkbox"/> 評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	4				
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	<input type="checkbox"/> 実施に関し、学則及び規程等を整備し実施しているか	1	学校関係者評価はコロナ禍により取りやめた。	。		
	<input type="checkbox"/> 実施に際して組織体制を整備し、実施しているか	3				
	<input type="checkbox"/> 設置課程・学科に関連業界等から委員を適切に選任しているか	3				
	<input type="checkbox"/> 評価結果に基づく学校改善に取り組んでいるか	3				
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	<input type="checkbox"/> 評価結果を報告書に取りまとめているか	1				
	<input type="checkbox"/> 評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	4				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
自己評価の体制は整備され、報告書にまとめており、ホームページで公開している。	学校関係者評価は、コロナ禍等の事情により、実施しないこととした。

最終更新日付	2023年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

9-35 教育情報の公開

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	<input type="checkbox"/> 学校の概要、教育内容、教職員等教育情報を積極的に公開しているか <input type="checkbox"/> 学生、保護者、関連業界等広く社会に公開するための方法で公開しているか	4 3	学校概要、教育内容はホームページに公開している。	公開内容の検討	ホームページの更新	ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校情報をホームページに公開している。	

最終更新日付	2023年6月1日	記載責任者	谷口 久光
--------	-----------	-------	-------

基準 10 社会貢献・地域貢献

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>高等学校・日本語学校での出前授業や進学イベントは復活傾向であるが、コロナ終息以降は業者主催のものがほとんどで、先生からの直接依頼や生徒指導/社会貢献を帯びたタイプのは少ない。</p> <p>ホテル研修生の受け入れは復活したものの、入学者僅少のため、希望者も少ない。</p> <p>地域行事においても、以前は当校の外国人留学生による通訳ボランティアによる地域連携があったが、コロナ以降その取り組み自体も衰退しサークルも解散し、地域から声がかかることも皆無となった。</p>	<p>社会貢献・地域貢献・ボランティア活動は提携先のない事にはスタートできない。</p> <p>新型コロナウイルス終息に合わせて、各主催団体と社会貢献・地域貢献のために求められるものを再度制度設計する必要がある。</p> <p>各主催団体がコロナ以降どのような実態になっているのか、管理者や担当者がどうなっていくかのコンタクトを学校としても確認・調査・検討していく必要がある。</p> <p>地域・企業との連携を深め、貢献していく学校にしていく必要がある。</p> <p>国際力の強化のため、留学生の受け入れは、引き続き積極的に行っていく。</p>	

最終更新日付

2023年6月1日

記載責任者

西端 茂和

10-36 社会貢献・地域貢献

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	<input type="checkbox"/> 産・学・行政・地域等との連携に関する方針・規程等を整備しているか	2	新型コロナウイルス終息に兆しがあるものの、各種イベントが全面的に復活とまで入っていない。地域貢献・社会貢献等の活動は停滞している。 生涯学習講座は開設していない。 授業で取り上げるのと同時に職員との情報共有でも取り上げ、協議している。	産官学の連携について学内での情報共有と各企業や地域との改めて連携を強化する認知・行動が必要。	産官学の連携に積極的に参加する。	
	<input type="checkbox"/> 企業や行政と連携した教育プログラムの開発、共同研究の実績はあるか	2				
	<input type="checkbox"/> 国の機関からの委託研究及び雇用促進事業について積極的に受託しているか	1				
	<input type="checkbox"/> 学校施設・設備等を地域・関連業界等・卒業生等に開放しているか	1				
	<input type="checkbox"/> 高等学校等が行うキャリア教育等の授業実施に教員等を派遣するなど積極的に協力・支援しているか	1				
	<input type="checkbox"/> 学校の実習施設等を活用し高等学校の職業教育等の授業実施に協力・支援しているか	1				
	<input type="checkbox"/> 地域の受講者等を対象とした「生涯学習講座」を開講しているか	1				
	<input type="checkbox"/> 環境問題など重要な社会問題の解決に貢献するための活動を行っているか	1				
	<input type="checkbox"/> 学生・教職員に対し、重要な社会問題に対する問題意識の醸成のための教育、研修に取り組んでいるか	2				

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
10-36-2 国際交流 に取組んでいる か	<input type="checkbox"/> 海外の教育機関との国際 交流の推進に関する方針を 定めているか <input type="checkbox"/> 海外の教育機関と教職員 の人事交流・共同研究等を行 っているか <input type="checkbox"/> 海外の教育機関と留学生 の受入れ、派遣、研修の実施 など交流を行っているか <input type="checkbox"/> 留学生の受入れのため、学 修成果、教育目標を明確化 し、体系的な教育課程の編成 に取組んでいるか <input type="checkbox"/> 海外教育機関との人事交 流、研修の実施など、国際水 準の教育力の確保に向け取 組んでいるか <input type="checkbox"/> 留学生の受入れを促進す るために学校が行う教育課 程、教育内容・方法等につい て国内外に積極的に情報発 信を行っているか	2 1 2 3 2 3	<p>留学生の受け入れを積 極的に行っており、国際 交流を進めている。</p> <p>海外の教育機関との連 携は取れていない。</p> <p>外国人留学生に対応し たカリキュラム策定を 行っている。</p>	<p>留学生の国籍の変化 海外の教育機関との連 携方法 ニーズの変化</p>	<p>日本語能力の向上、ニー ズへの対応を進めてい く。 国内他校と連携して、が 海外教育機関との連携 を図る。</p>	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
留学生の積極的受け入れにより、国際交流を進めていく。	

最終更新日付	2023年6月1日	記載責任者	西端 茂和
--------	-----------	-------	-------

10-37 ボランティア活動

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	<input type="checkbox"/> ボランティア活動など社会活動について、学校として積極的に奨励しているか <input type="checkbox"/> 活動の窓口の設置など、組織的な支援体制を整備しているか <input type="checkbox"/> ボランティアの活動実績を把握しているか <input type="checkbox"/> ボランティアの活動実績を評価しているか <input type="checkbox"/> ボランティアの活動結果を学内で共有しているか	1 1 1 1 1	ボランティアの募集や実績の管理などはおこなっていたが、コロナ終息後もボランティア活動はできずにいる。団体からのニーズもなく、当校希望者も僅少。	ボランティア活動の検討・再開	地域との連携	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
コロナ禍によりボランティア活動はできなくなった。	

最終更新日付	2023年6月1日	記載責任者	西端 茂和
--------	-----------	-------	-------

4 令和4年度重点目標達成についての自己評価

令和4年度重点目標	達成状況	今後の課題
<p><教務></p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定的な授業運営 ・各部署との連携 ・カリキュラムの刷新と講師選定 ・学校行事見直し <p><学生募集></p> <p>〈日本人〉入学者数の増加。 〈留学生〉入学者数の増加、質の向上。</p> <p><就職></p> <p>〈就職〉就職率 100%。</p>	<p><教務></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケートと授業見学を実施しカリキュラムと講師は順調に推移 ・学生・保護者からのクレームもなく安心できる学校運営を達成 <p><学生募集></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人の増加には至らなかった。 ・留学生については以前一桁で厳しい状況 ・入学選考により質は担保した。 <p><就職></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人は全員決定した。 ・留学生については例年 90%台を保持 求人は復活傾向であるが 都心を希望する学生とのマッチングに 苦慮。 	<p><教務></p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師の指導力向上 ・授業のバリエーション・リニューアル ・学校行事・課外活動の復活 <p><学生募集></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新校舎の PR と学校の魅力度を上げ ・認知は広がったが、出願・入学までの道のりが確約できないため 高校・日本語学校との連携を深める <p><就職></p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職に直結したカリキュラム作成。 ・求人獲得のため企業への働きかけ・訪問を実施し連携を強化する。 ・インターシップの活用と就職先レベルの向上。 ・就職内定獲得できるマナーや日本語を指導する。